

子育てに関する 行政制度及び行政サービスについて

第11回 「発達障害とその支援」

2012年12月に文部科学省より発表された『通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果』によると、知的な遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す児童生徒の割合は6.5%であったと報告されています。近年、社会的認識も高まっている発達障害ですが、制度的には、まだ支援がスタートしたところ。今回は子どもの発達障害とその支援について特集します。



「主な発達障害の定義」

自閉症

自閉症とは、3歳位までに現れ、①他人との社会的関係の形成の困難さ、②言葉の発達の遅れ、③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害です。自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないものを**高機能自閉症**といいます。

〈特長としては〉

- 急に予定が変わったり、初めての場所に行ったりすると不安で動けなくなったり、突然大きな声を出してしまうことがあります。

アスペルガー症候群

知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れを伴わないものです。なお、高機能自閉症やアスペルガー症候群は、**広汎性発達障害**に分類されるものです。

〈特長としては〉

- 自分のことばかり話し、話し出すと止まらないことがよくあります。大好きなことは専門家も驚くほどの知識を持っています。

注意欠陥／多動性障害(ADHD)

ADHDとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものです。

〈特長としては〉

- 集中できない、じっとしてられない、黙ってられない、衝動的に行動するなど。

■発達障害とは■

発達障害者支援法によれば「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されています。

(文部科学省による)

学習障害(LD)

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはありませんが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものです。

〈特長としては〉

- 聞きながら書けないなど、「読む」、「書く」、「計算する」などが極端に苦手です。

「発達障害児と保護者への支援」

発達障害は、どんな能力に障害があるのか、どの程度なのかはその子によって様々です。また、障害の困難さに目が行きがちですが、優れた能力を持ち、社会で活躍している人もいます。発達のアンバランスさから、周りからの理解を得にくいことが多く、「思いやりのない、わがままな子」といわれてしまい、結果的に二次障害を発症することもあり、早期発見、早期支援の環境を整えることが大切だといわれています。



発達障害者支援センター

各都道府県・指定都市に設置され、年齢に関係なく、発達障害者やその家族等に対して、相談支援、発達支援、就労支援及び情報提供等を行っています。

全国の発達障害者支援センター一覧 <http://www.rehab.go.jp/ddis/> 相談窓口の情報/

平成24年4月よりスタートした障害児全体に対する支援事業

■保育所等訪問支援

支援の対象: 保育所や幼稚園、認定こども園、小学校、特別支援学校など、児童が集団生活を営む施設に通う障害児

支援の内容: ①障害児本人に対する、集団生活適応のための訓練など②訪問先施設のスタッフに対する支援方法等の指導などの支援。

実施団体: 自治体及び民間団体

■放課後等デイサービス

支援の対象: 学校教育法に規定する学校(幼稚園・大学を除く)に就学している障害児

支援の内容: 学校授業終了後又は休業日に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進をはかる。①自立した日常生活を営むために必要な訓練②創作的活動、作業活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供。さらに、学校との連携・協働による支援

実施団体: 自治体及び民間団体

支援を受けるまでの流れ

新しい支援を含め、発達障害児が支援を受給するには、居住する市町村で支給決定の認定を受ける必要があります。支給決定は手帳の認定とは違い、あくまでも支援を受けるための認定です。また、サービスは有料による受給となり、運営団体と直接契約を結ぶ形となります。

* 保育所等訪問支援及び放課後等デイサービスは現在拡充が図られている事業のため、支援者に特定の資格が設けられていません(運営者には規定有)。特に民間団体の場合、実施内容は団体により差があります。そのため、サービスを受けるにあたって施設の支援内容を見学などにより検討することが大切です。尚、支援の受給は、市町村を超えて利用することも可能です。詳しくは居住の市町村でご確認ください。

* 現在平成27年度に向けて事業内容の検討が進められているところです。3月には次年度の制度内容が決まる予定です。

親への支援

発達障害を持つ子は、人との社会的関係が築きにくく、育て難い特徴があります。そのため、保護者はどう接していいのかわからないという問題を抱えがちです。現在、各都道府県の発達障害者支援センター等で、経験者であるペアレントメンターの育成や、子どもとのかかわり方を学ぶペアレントトレーニングが実施されています。

Support for **Woman Doctors**
 ～私からあなたへ～ vol.2

「ひとことがママを救う」

白石 裕子 先生【島根県 17 期】
 隠岐広域連立立隠岐島前病院
 国民健康保険浦郷診療所



2014 年末、遅い夏休みで北欧デンマークへ、義弟一家を訪ねてきました。

長男が来年受験なので、今回スキーも行くところ！ 作戦です。デンマークってなじみのない国ですが、幼いころから本好きの私は、アンデルセンが生まれた国ということで大興奮。人魚姫像や、パステルカラーの街並みはまるでおとぎ話。リアル衛兵交代に王宮博物館など、雪のコペンハーゲンをレンタル自転車で滑走しました。やっぱり北欧は福祉のまちと感動したのは、医療費教育費はすべて無料で、デパートでは男性トイレにも“おむつ替え台あり”の表示、子供の病気で親の休暇は当然の権利で病児保育の概念もないのだとか。すごいです！



デンマーク在住の義弟一家は2歳児がいて、ちょっとのおでかけも大騒ぎ。私も数年前までは、大荷物を抱え、よちよち歩きの子を

おんぶしたりだっこしたり大変だったなあ・・・と振り返りました。子育て中何より大変だったのは自分の自由がきかないこと。赤ちゃんは思い通りに動いてくれないし、いざという時ぐずったり泣きだしたり。自分のみだしなみもそちのけで、泣く子を前にこっちは泣きたくなることも。一日中会話もなく赤ちゃんの世話に明け暮れた日々、家もぐちゃぐちゃで落ち込んでしまう時、ダーリンから“家事をしてもらうために結婚したんじゃない”、“君のおかげで子供たちはこんなに大きく育ってる、それが一番大事”うれしかったです。子供たちは 17 歳を頭に8歳までとすっかり成長、久々の自転車やスキーにびびる母の心配をしてくれる頼もしい存在になりました。私も母親業で“忘己利他”の精神が培われ、マルチタスクに慣れました。慣れってコワイ、そして素晴らしく、すべて時の流れが解決してくれるんですね。お仕事とママライフを満喫するための3種の神器、それは“よき夫、よき上司、かわいい子供”。何より自分が元気で笑顔で、今を楽しんでください。



お子さんは 17 歳、13 歳、10 歳、8 歳の 4 人

後輩医師・学生へ一言メッセージ「今を大切に」

【おススメ本】

★「today 今日」 訳：伊藤比呂美/福音館書店/
 1,400 円(本体価格)/
 2013 年発行



★「野心のすすめ」
 (講談社現代新書) 新書
 著：林真理子/講談社/
 740 円(本体価格)/
 2013 年発行



「自治医大卒業生 女性医師支援 NEWS」
 では、読者の皆様からのご意見をお待ちいたしております。特集記事のテーマ、絵本やその他のコーナーについても、ご希望などあれば、是非お寄せください。
 連絡先：自治医科大学 地域医療推進課 卒後指導係
 E-mail : chisui@jichi.ac.jp

絵本の森

今回は、動物を主人公にした絵本の紹介です。特に、古くから読み継がれている名作を紹介しています。話の流れも緩やかで、読みながら、一緒に感じたり、登場する動物ごとに声色を変えたりして親子でアレンジを楽しんでみてはいかがでしょうか。

ねずみくんのチョコッキ



作：なかえ よしを
 絵：上野 紀子
 出版社：ポプラ社
 発行：1974年 8 月
 読んであげるなら4歳～
 定価：1,000円(本体価格)

ねずみくんはお母さんが編んでくれたチョコッキを、ほかの動物に貸してあげました。するとびよーんと伸びて…。チョコッキを借りた動物たちの表情がユニークでいきいきしています。最後、ねずみくんと伸びてしまったチョコッキが悲しいながらもユーモラスに描かれています。今年 40 周年となる「ねずみ君シリーズ」の第 1 作。



三びきのやぎのからがらどん

ノルウェーの昔話
 絵：マーシャ・ブラウン
 訳：瀬田 貞二
 出版社：福音館書店
 発行日：1965 年 7 月
 読んであげるなら 3 歳～
 定価：1,100 円(本体価格)

3 匹ヤギがらがらどんは、太ろうと思いついて山に登ろうとします。しかし橋の下にはトロールが住んでおり、3匹を食べようとします。段々大きくなっていくヤギの迫力を効果的な音で表現し、ヤギとトロールの対決の盛り上がりは、テンポ良く子どもたちに大人気の本です。



ジオジオのかんむり

作：岸田 衿子
 絵：中谷 千代子
 出版社：福音館書店
 発行日：1978 年 4 月
 読んであげるなら 3 歳～
 定価：800円(本体価格)

怖がられ話し相手がいなかったライオンジオジオは、小鳥の卵を守るために、自分のかんむりを使わせてあげます。孵った小鳥に囲まれて鳴き声に耳を傾けるラストの絵のジオジオには、もう強さはないけれど幸せを感じます。



もぐらとずぼん

文：エドアルド・ペチシカ
 絵：ズデネック・ミレル
 訳：内田 莉紗子
 出版社：福音館書店
 発行日：1967 年 12 月
 読んであげるなら 4 歳～
 定価：1,300円(本体価格)

もぐらがすてきなズボンを作るために、森の友達の力を借りて糸からズボンを作る話です。みんなのできることを協力しあってズボンが出来上がります。様々な動物が登場し、ものづくりの楽しさあふれる読絵本です。